

●この説明書は、施工後お施主様にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●本体と鴨居へのかかりを5mm以上確保してください。かかりが少ない場合は、建付け調整を必ず行ってください。本体が枠から外れてケガをする原因になります。

■取付け上のおお願い

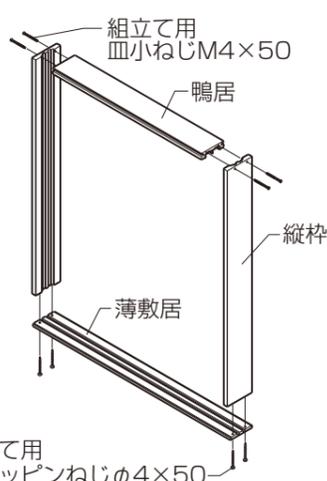
- 本製品は、ケーシングタイプ薄壁用は壁厚(111~141mm)、厚壁用は壁厚(142~182mm)、3枚建・片引き2枚建は壁厚(146~188mm)、片引き3枚建は壁厚(186~216mm)に取付けられます。
- ノンケーシングタイプNC90は壁厚(50~75mm)、NC115は壁厚(76~100mm)、NC156は壁厚(116~130mm)、NC171は壁厚(131~145mm)、NC180は壁厚(146~160mm)、NC210(片引き3枚建)は壁厚(170~190mm)に取付けられます。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれなどのないよう(特に中縦枠)注意してください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 本体は落下させたり、立てかけるときに衝撃を与えないでください。戸車部の樹脂部品がキズ付き、開閉に支障をきたす原因になります。
- 片引き・引分けの建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから取付けしてください。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買求め店までご連絡ください。(取付け後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 軽量鉄骨に直接取付ける場合は、同梱のねじでは取付けできません。現地に鉄骨までかかる長さのねじを手配してください。
- 各部材のガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
- 組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。ただし、叩き込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。
- 鴨居取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを変形させると本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。
- 床(下地)は段差やすき間がないように仕上げしてからフラット下レールを固定してください。
- フラットレールの取付けねじを締めすぎないでください。レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。
- ツバ材取付けの際、ハンマーなどで強くたたき込まないでください。
- ブレーキ力調整ねじを弱方向に回す場合は、ブレーキの表面よりねじ頭を1.5mm以上出さないように調整してください。

■本体保管上のおお願い

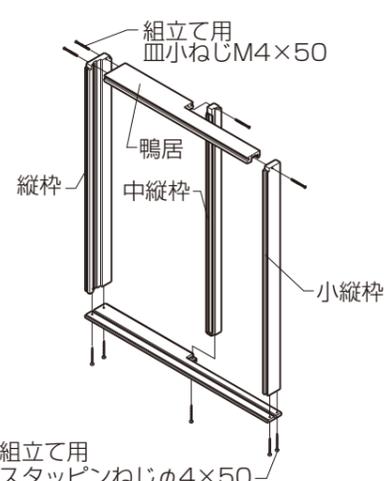
- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・昼夜などで温度差の激しい場所
 - ・湿気の多い場所
- 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の名称

●引違い枠



●片引き枠



※図はツバ付薄敷居使用の場合を示す。

■部品・部材の明細

		片引き	片引き 2枚建	片引き 3枚建	引違い	引違い 3枚建	引違い 4枚建	引分け
本体	本体	1梱包×1	1枚梱包×2	1枚梱包×3	1枚梱包×2	1枚梱包×3	1枚梱包×4	1枚梱包×2
	鴨居	1	1	1	1	1	1	1
	上レール	1	1	1	1	1	1	1
	縦枠	1	1	1	2	2	2	—
	中縦枠	1	1	1	—	—	—	2
	小縦枠	1	1	1	—	—	—	2
	幅木	1	1	1	—	—	—	2
	戸当たり	2(錠付きの場合3)	3	4	4	6	4	2
	目かくし	—	—	1	—	—	—	—
	召合せパッキン	—	—	—	—	—	2	2
枠	枠用部品セット	1*1	1*1	1*1	1*1	1*1	1*1	1*1
	ツバなし薄敷居 ※4方枠の場合のみ	1	1	1	1	1	1	1
	ケーシングセット ※ケーシングタイプのみ	横:2(長:1,短:1) 縦:4	横:(長:1,短:1) 縦:4	横:(長:1,短:1) 縦:4	横:2 縦:4	横:2 縦:4	横:2 縦:4	横:(長:1,短:1) 縦:4
	ツバ付薄敷居 ※別売品	下枠:1,レール:1 ツバ材:(長:1,短:1)*2	下枠:1,レール:2 ツバ材:(長:1,短:1)	下枠:1,レール:3 ツバ材:(長:1,短:1)	下枠:1,レール:2 ツバ材:2*2	下枠:1,レール:3 ツバ材:2	下枠:1,レール:2 ツバ材:2	下枠:1,レール:1 ツバ材:(長:1,短:1)
	埋込敷居 ※別売品	敷居:1 下レール:1	敷居:1 下レール:2	敷居:1 下レール:3	敷居:1 下レール:2	敷居:1 下レール:3	敷居:1 下レール:2	敷居:1 下レール:1
	フラット下レール ※別売品	1	1	1	1	1	1	1

※1. 4方枠の場合は薄下枠組立て用の部品セットが1つ追加で同梱されています。
 ※2. NC90の場合は、ツバ材の数量は1本となります。

■部品セット

引戸錠セット

サムターン本体	1個
サムターン取付け用皿小ねじM3×10	2本

枠用部品セット	片引き (NC156、171、 180/C付)		片引き2枚建		片引き3枚建		引違い (NC156、171、 180/C付)		引違い3枚建		引違い4枚建		引分け	
	3方枠	4方枠	3方枠	4方枠	3方枠	4方枠	3方枠	4方枠	3方枠	4方枠	3方枠	4方枠	3方枠	4方枠
組立て用皿小ねじM4×50	4本	9本	4本	9本	4本	9本	4本	8本	4本	8本	4本	8本	4本	10本
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	5本	5本	8本	8本	8本	8本	5本	5本	8本	8本	8本	8本	8本	8本
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	6本	6本	6本	6本	6本	6本	6本	6本	6本	6本	6本	6本	6本	6本

枠用部品セット	片引き(NC90)		引違い(NC90)		片引き(NC115)		引違い(NC115)	
	3方枠	4方枠	3方枠	4方枠	3方枠	4方枠	3方枠	4方枠
組立て用皿小ねじM4×50	4本	9本	4本	8本	4本	4本	4本	8本
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	5本	5本	5本	5本	5本	5本	5本	5本
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	6本	6本	6本	6本	6本	6本	6本	6本
穴埋めシールシート	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚	1枚

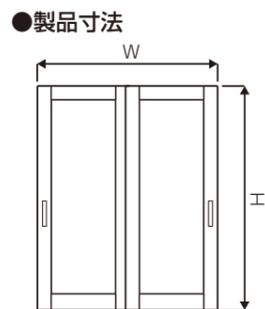
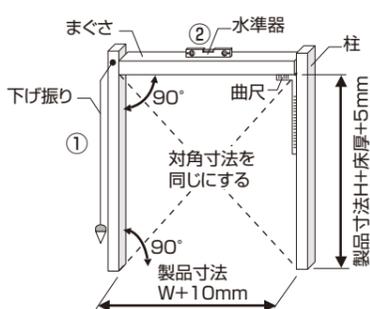
ツバ付薄敷居用	片引き	片引き2枚建	片引き3枚建	引違い	引違い3枚建	引違い4枚建	引分け
組立て用トラスタッピンねじφ4×50	5本	5本	5本	4本	4本	4本	6本
縦枠下部ピース	—	1個	2個	—	—	—	—
中縦枠組立て下部ピース	1個	1個	1個	—	—	—	2個
下部ピース取付け用皿タッピンねじφ4×20	1本	2本	3本	—	—	—	2本

フラットレール用部品セット	片引き	片引き2枚建	片引き3枚建	引違い	引違い3枚建	引違い4枚建	引分け
レール取付け用タッピンねじφ4(D6)×18	14本	18本	24本	14本	18本	24本	24本
1枚引き用端部ピース	2個	1個	1個	—	—	—	2個
2枚引き用端部ピース	—	1個	—	2個	—	2個	—
3枚引き用端部ピース	—	—	1個	—	2個	—	—
中縦枠下部スペーサー	1個	1個	1個	—	—	—	2個

埋込敷居用部品セット	片引き	片引き2枚建	片引き3枚建	引違い 引違い3枚建	引違い4枚建	引分け
敷居取付け用ベタッピンねじφ4×30	5本	6本	8本	6本	9本	9本
縦枠下部ピース	—	1個	2個	—	—	—
縦枠下部ピース取付け用皿タッピンねじφ4×20	—	1本	2本	—	—	—
中縦枠下部スペーサー	1個	1個	1個	—	—	2個

■開口部の作り方

- ① 下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。
- ② 水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。



■壁厚の違いによる枠とケーシングの組合せ

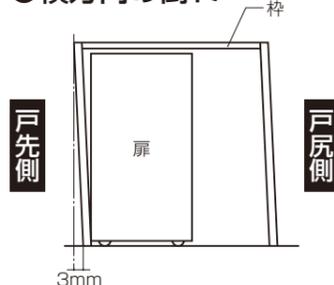
(単位:mm)

	ケーシング (足寸法)		対応壁厚	
	足寸法	対応壁厚	足寸法	対応壁厚
薄壁用	8	111~121	8	146~156
	14	122~133	14	157~168
	19	134~141	19	169~176
厚壁用	8	142~148	25	177~188
	14	149~160	8	186~196
	19	161~170	14	197~208
	25	171~182	19	209~216

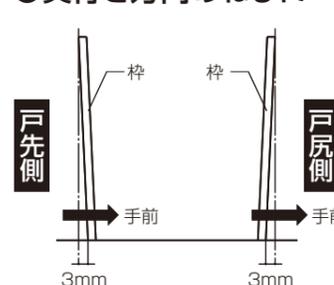
■取付け精度の許容範囲

※横方向の倒れ・奥行き方向のねじれ・
 枠のタイコ・ツツミが3mmを超える場合は、3mm以内になるように取付けを修正してください。(引戸が吊込めない・ソフトモーション機構の作動不良の原因となります。)

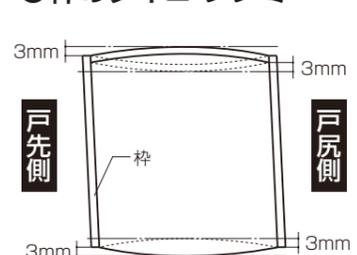
●横方向の倒れ



●奥行き方向のねじれ



●枠のタイコ・ツツミ

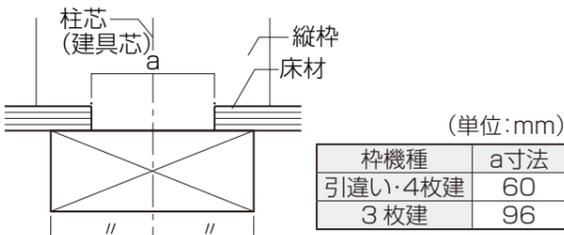


■床の張り方

〔埋込敷居の場合〕

●引違い・3・4枚建

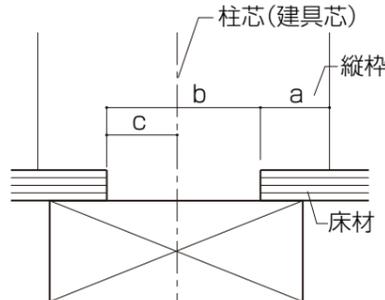
●床材間に埋込敷居が入りますので、柱芯(建具芯)を中心にa寸法あけて、床材を張ってください。
 ※床材の開口寸法(a寸法)が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込敷居が入りにくい原因となります。



●片引き・引分け

●床材間に埋込敷居が入りますので、柱芯(建具芯)より引込み側にb寸法あけて、床材を張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所にb寸法あけて、床材を張ってください。

※床材の開口寸法(b寸法)が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込敷居が入りにくい原因となります。
 ※フラットレールを使用する場合、床乗せの仕様になるため、床の開口をつくる必要はありません。

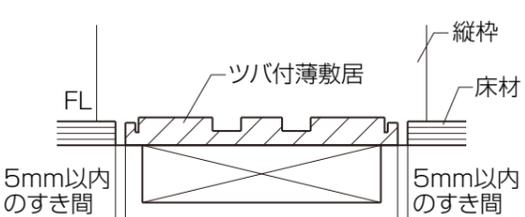


(単位:mm)

枠機種	a寸法	b寸法	c寸法
NC90	15	30	0
NC115	27.5	30	0
NC156	48	30	0
NC171	63	30	7.5
NC180	72	30	12
C付115(薄壁用)	27.5	30	0
C付142(厚壁用)	54.5	30	13.5
NC片引き2枚建	37	60	7
NC片引き3枚建	31.5	96	22.5
C付片引き2枚建	27.5	60	12.5
C付片引き3枚建	32	96	33

〔ツバ付薄敷居の場合〕

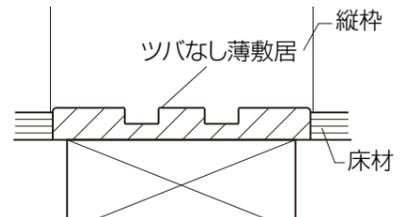
※枠の取付け後、下図のように床材を張ってください。



お願い
 ※床材と薄敷居のすき間は5mm以内にしてください。ただし、キャスターや車いすなどの荷重がかかる場合は、すき間をあけないでください。

〔ツバなし薄敷居の場合〕

※枠取付け後、縦枠・薄敷居にそって床材を張ってください。

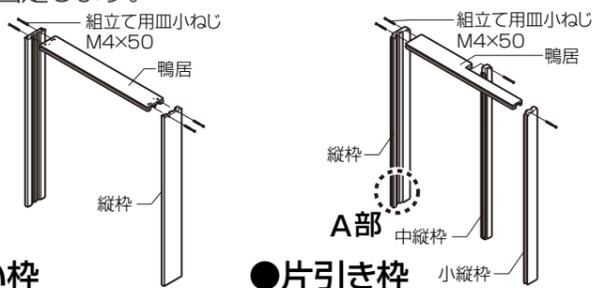


■取付け順序

1 枠の組立て

〔埋込敷居・フラット下レール使用の場合〕

●下図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。



●引違い枠

※NC90/115の場合、組立て用ねじ部に穴埋めシールを張付けてください。

●片引き枠

〔埋込敷居〕

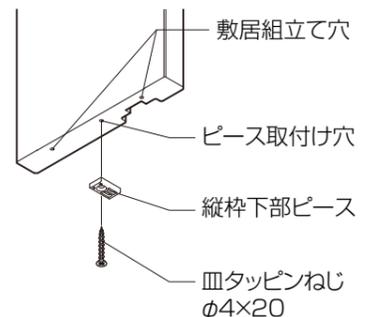
- 片引き
- 引違い・片引き2枚建
- 3枚建・片引き3枚建

〔フラット下レール〕

- 片引き
- 引違い・片引き2枚建
- 3枚建・片引き3枚建

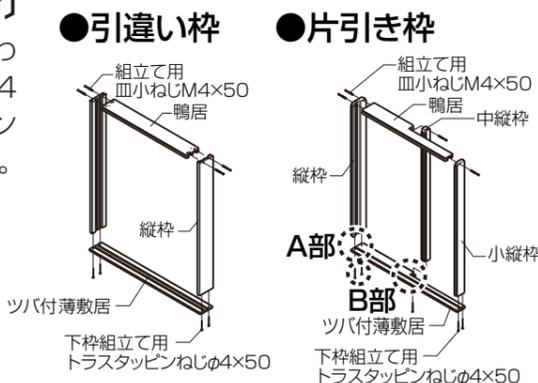
■A部詳細図(片引き2枚/3枚の場合)

※埋込敷居とツバ付薄敷居の時のみ取付けします。
 ※縦枠の下部に縦枠下部ピースを同梱のピース取付け用皿タッピンねじφ4×20で取付けてください。
 ※片引き2枚建の場合は1個、片引き3枚建の場合は2個取付けます。



〔ツバ付薄敷居使用の場合〕

●下図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)およびトラスタッピンねじφ4×50)で固定します。



〔ツバ付薄敷居〕

- 片引き
- 引違い

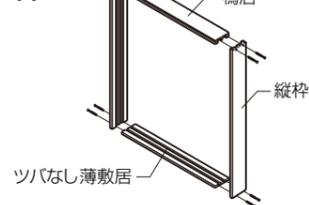
〔ツバなし薄敷居〕

- 片引き
- 引違い

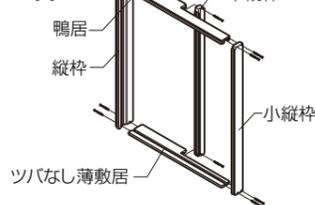
〔ツバなし薄敷居使用の場合〕

●下図のように、各部材を組合わせ、同梱のねじ(皿小ねじM4×50)で固定します。

●引違い枠



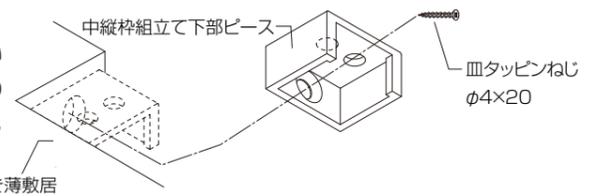
●片引き枠



■B部詳細図

- ツバ付き薄敷居の戸袋側切欠き部に中縦枠組立て下部ピースを同梱の下部ピース取付け用皿タッピンねじφ4×20で敷居裏面とピースが面一になるように取付けてください。(片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建は1個、引分けの場合は2個取付けます。)
- 中縦枠をピースの上のせ、同梱のトラスタッピンねじφ4×50で下面からピースと中縦枠を固定します。

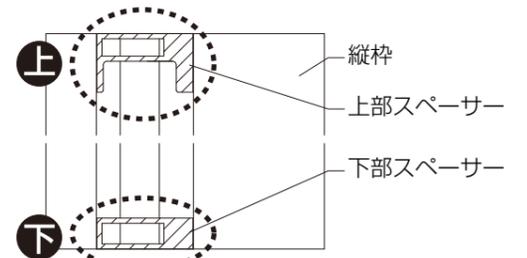
※ピースは中縦枠と接する面に左勝手用時と右勝手用時の2箇所取付け孔が空いています。中縦枠に予めあいている下孔加工と合う側の1ヶ所をねじで固定してください。



縦枠には上下があります。

大きなスペーサーが付いている方が上側です。組み合わせる向きにご注意ください。

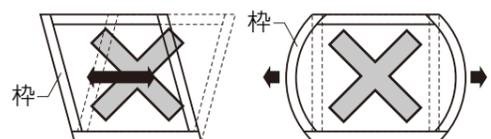
※3方枠の時は、下部スペーサーは付いていません。



※図は片引戸の場合を示します。

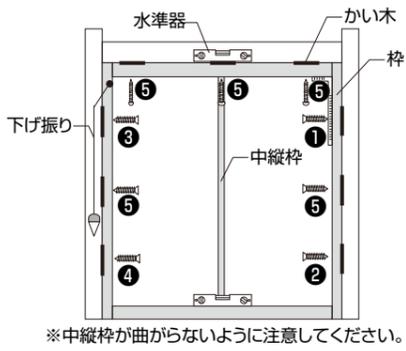
枠組立て上のお願

- ※ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
- ※組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。ただし、叩き込まないようにして下さい。保持力低下などの原因となります。
- ※枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因となります。



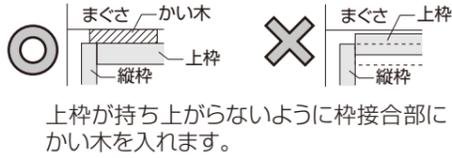
2 枠の取付け

開口部と、縦枠・(中縦枠・小縦枠)・上枠との間にかい木を入れて取付けます。

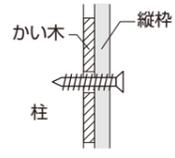


※中縦枠が曲がらないように注意してください。

- ① 枠を開口部にはめこんで、下枠・上枠の水平を確認してから、縦枠の①を仮固定してください。
 - ② 下げ振りを使って垂直・倒れないことを確認してから、縦枠の②を仮固定してください。
 - ③ 水準器で下枠・上枠の水平を確認してから縦枠の③を仮固定してください。
 - ④ 下げ振りを使って垂直・倒れないことを確認してから、縦枠の④を仮固定してください。
 - ⑤ 枠の水平・垂直を再度確認して、上下、左右のすき間をかい木で調整後、残りのねじで本固定してください。
- ※枠に水糸を張る等して枠が曲がっていないことを必ず確認してください。



上枠が持ち上がらないように枠接合部にかい木を入れます。



かい木は100mm以上を使用して木工用ボンドで接着してください。

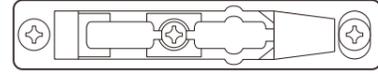
※引違い枠には向きがあります。開口部に取付ける前に、必ず向きを確認してください。

●戸先ブレーキ仕様枠の場合

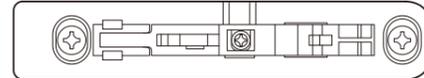
ブレーキ部品側が戸先になります。

●シングルソフトモーション枠の場合

シングルソフトモーション受け部品側が戸先になります。



(ブレーキ部品) 部品色：ブラウン



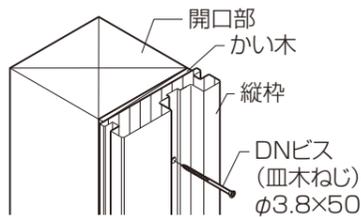
(シングルソフトモーション受け部品) 部品色：グレー

●鴨居

※鴨居はトラスタッピン
ねじφ4×50で固定してください。

●縦枠・小縦枠

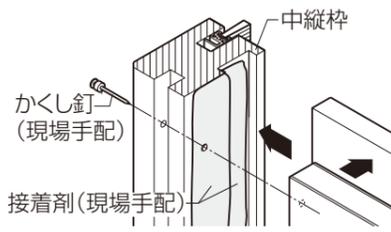
※DNビス(皿木ねじ)
φ3.8×50で固定してください。



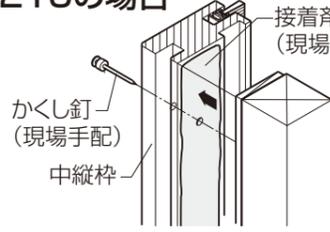
●中縦枠の固定

※裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、かくし釘(現場手配)で固定します。

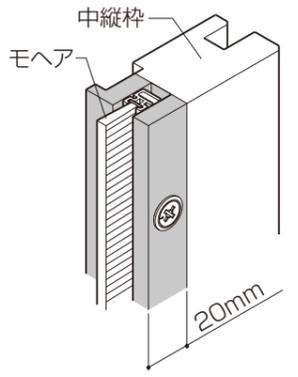
■NC90、115の場合



■C付/NC156、171、180、210の場合



中縦枠を固定する際釘やタッカーをモヘア側から表裏20mmの斜線部には打たないでください。中縦枠にはモヘアを調整する機能が付いているため、部品が破損し調整出来なくなります。

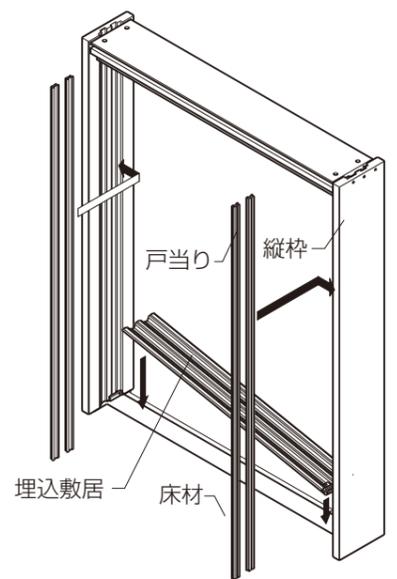
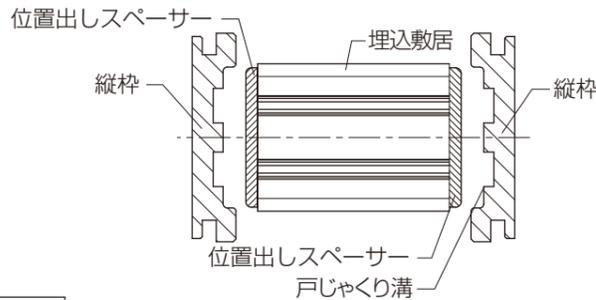


〔埋込敷居の取付け〕

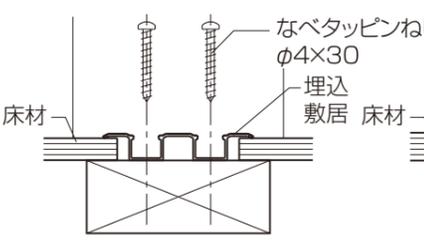
●引違い枠

(3・4枚建枠は引違い枠に準じる)

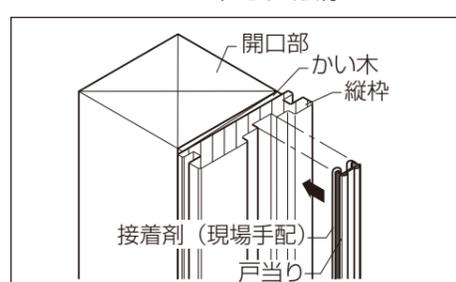
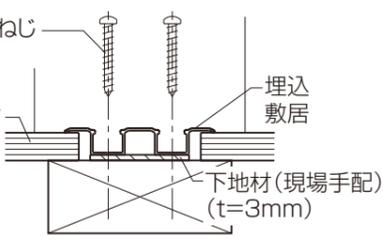
- ① 埋込敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
 - ② 同梱のねじで固定します。
 - ③ 戸当りに接着剤(現場手配)を付けて溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず、敷居取付け後に取付けてください。



●床材厚さ12mm



●床材厚さ15mm



●片引き枠

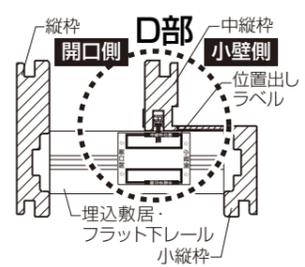
(引分け・片引き2・3枚建は片引き枠に準じる)

- ① 埋込敷居およびフラット下レールに同梱の中縦枠下部スペーサーを、リブ面を上向きにして中縦枠のすき間にしてください。
- ※以下は引違い枠を参照してください。

■C部詳細

- 片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分け戸の場合、中縦枠の位置出しは、フラット下レールおよび埋込敷居の位置出しラベルに合わせて取付けてください。

- ① 片引戸(フラット下レール、埋込敷居)
※片引戸のフラット下レールおよび埋込敷居は左右勝手兼用ですが、中縦枠位置出しのため向きがあります。必ずラベルの「小壁側」「開口側」を確認してください。



■D部詳細

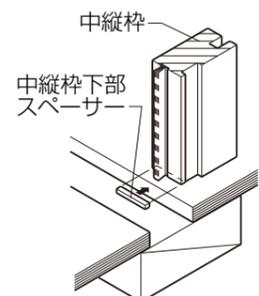
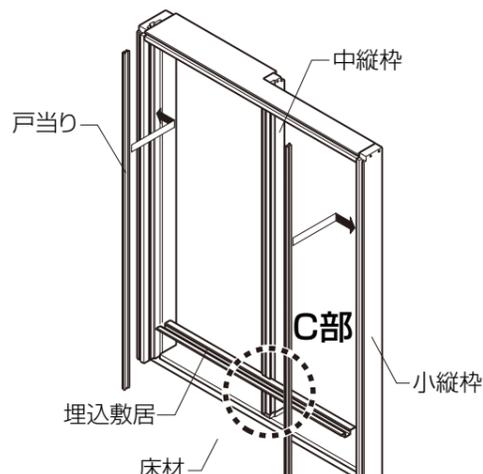
- ※このラインを合わせてください

■E部詳細

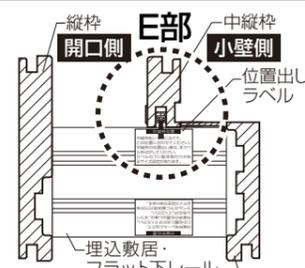
- ※このラインを合わせてください

■F部詳細

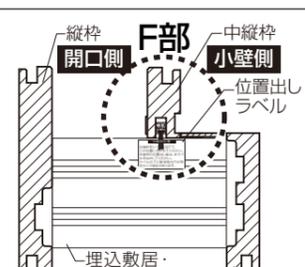
- ※このラインを合わせてください



- ② 片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分け戸(フラット下レール)
※片引戸2枚建・3枚建のフラット下レールは左右勝手兼用ですが、中縦枠位置出しのため向きがあります。ラベルが貼ってある方が小壁側になるように取付けてください。



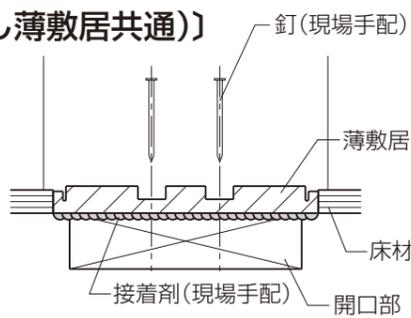
- ③ 片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分け戸(埋込敷居)



〔薄敷居の取付け(ツバ付・ツバなし薄敷居共通)〕

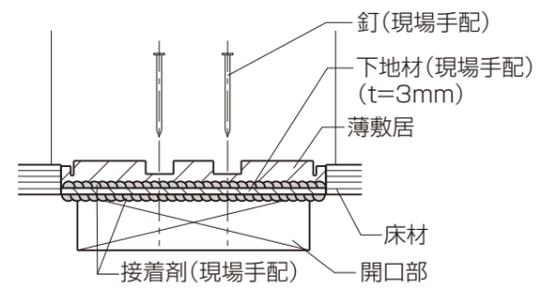
●床材厚さ12mm

※必ず薄敷居に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。
 ※釘は端部より100mm離し、450mmピッチで接着剤(現場手配)と併用して取付けてください。



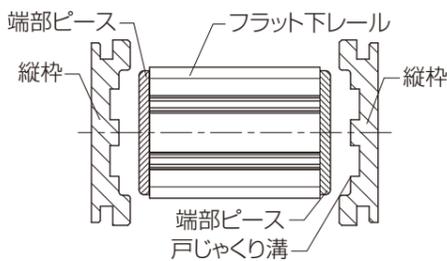
●床材厚さ15mm

※必ず薄敷居と下地材に接着剤(現場手配)を付け、躯体に固定してください。



〔フラット下レールの取付け〕

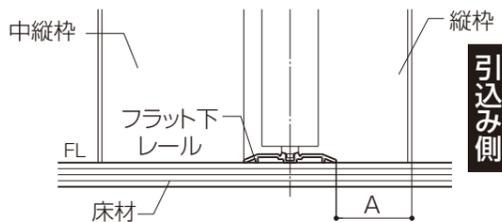
①フラット下レールに同梱されている端部ピースをフラット下レールに取り付けて縦枠戸じゃくり溝にはめ込みます。



②縦枠に合わせて仮置きしてください。

●片引き枠

※引込み側にA寸法あけて仮置きしてください。



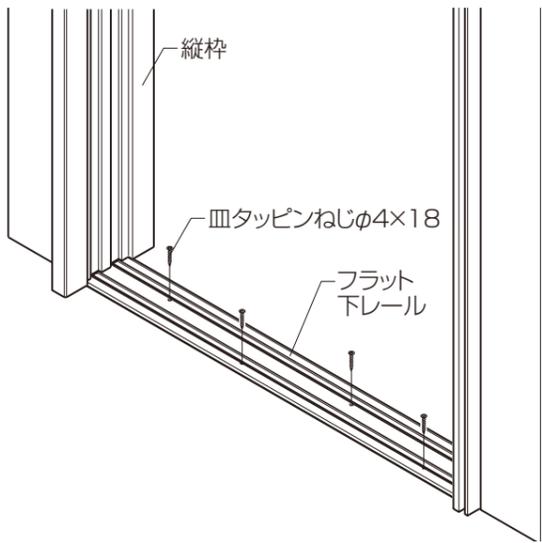
※中縦枠部は〔埋込敷居の取付け〕を参照してください。

●引違い枠

※はめ込んだ端部ピースを縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。

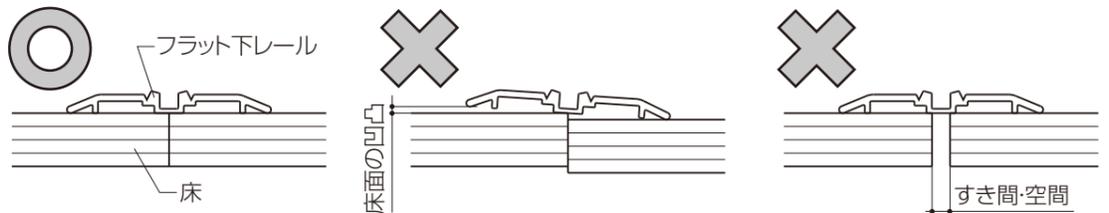
枠種類	A
NC90(片引戸)	4.5
NC115(片引戸)	17
NC156(片引戸・引分け戸)	37.5
NC171(片引戸・引分け戸)	52.5
NC180(片引戸・引分け戸)	61.5
NC180(片引戸2枚建)	26.5
NC210(片引戸3枚建)	21.5
薄壁(片引戸・引分け戸)	17
厚壁(片引戸・引分け戸)	44
C付150(片引戸2枚建)	17
C付190(片引戸3枚建)	22

③フラット下レールをねじ(皿タッピンねじφ4×18)で固定します。



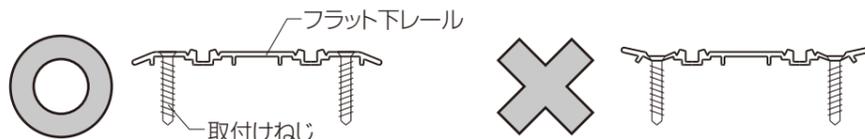
お願い

※床(下地)は段差やすき間がないように仕上げしてからフラット下レールを固定してください。



お願い

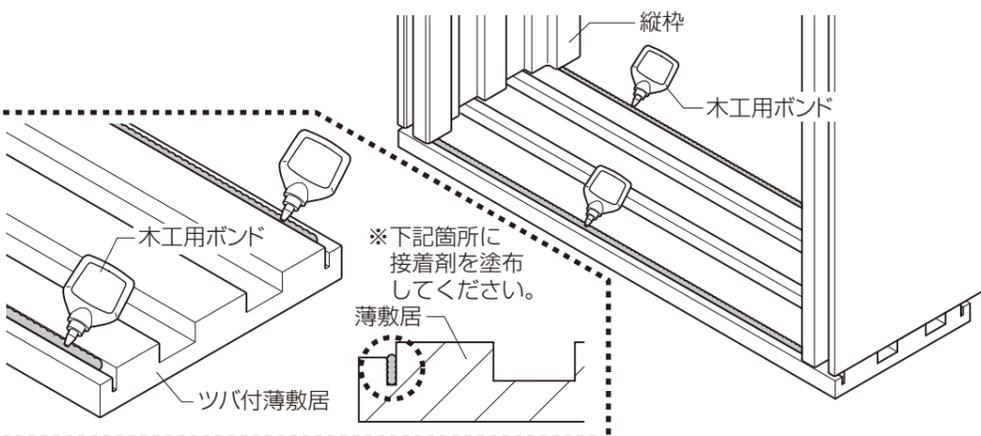
※取付けねじを締めすぎないでください。フラット下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。



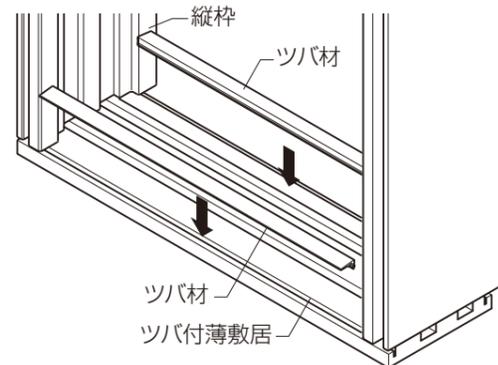
3 ツバ材の取付け

(ツバ付薄敷居を使用する場合のみ)

①現場でツバ材の寸法を開口に合わせて切断してください。
 ②薄敷居の溝に木工用ボンド(現場手配)を溝全長に隙間無く塗布してください。

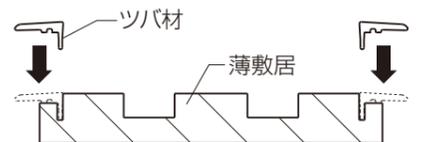


③ツバ材を溝に手ではめこんでください。



お願い

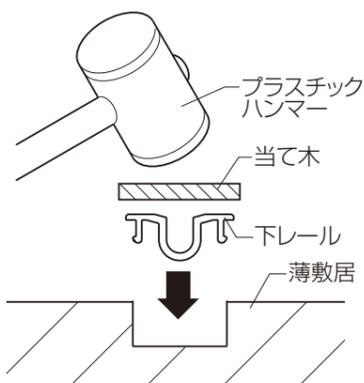
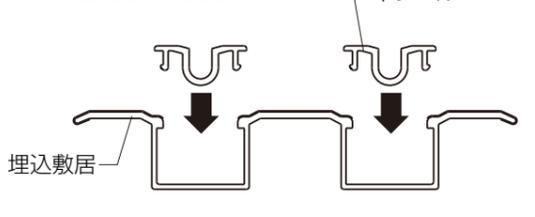
※ハンマーなどで強くたたき込まないでください。



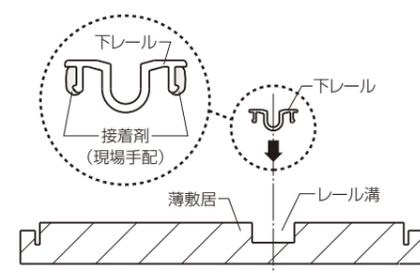
4 下レールの取付け

●敷居の溝にプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。

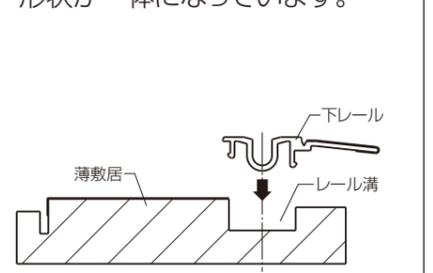
〔埋込敷居の場合〕



※接着剤(現場手配)は、レール溝にガタのある場合に使用してください。



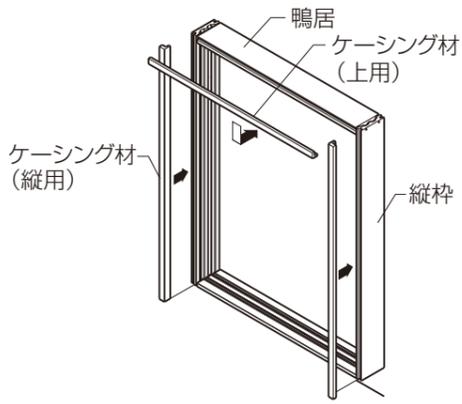
※薄敷居下レールNC90用 NC90の場合、Vレール側はツバ形状が一体化になっています。



5 ケーシング材の取付け (ケーシングタイプのみ)

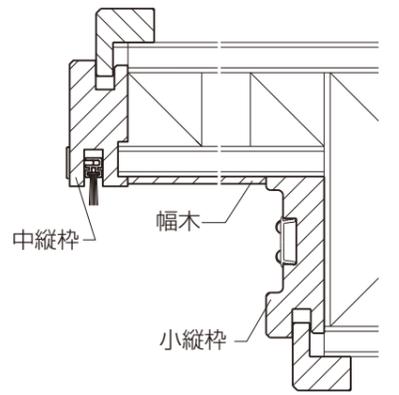
※壁材・床材を仕上げたからケーシング材を取付けてください。

- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合せて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現場手配)を塗布し、ケーシング材を固定します。



6 幅木の取付け

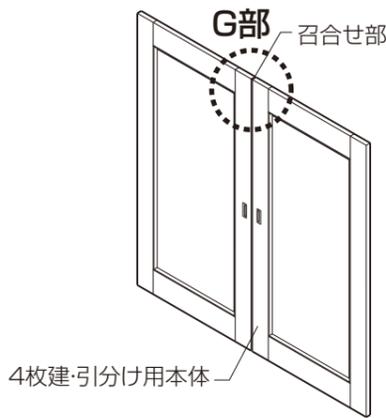
※片引き用枠には、小壁のボードと埋込敷居又はフラット下レールを見切るために幅木が同梱されています。必ずご使用下さい。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤(現地手配)を塗布し、専用のかくし釘で固定します。かくし釘のピッチは、200~300mmです。



■召合せパッキンの取付け(4枚建・引分けのみ)

※4枚建・引分け用本体の召合せ部に、枠と同梱のパッキンを取付けます。パッキン裏面のシートをはがし、5kg程度の力で手で押して張付けてください。(パッキンは枠の梱包に入っています。)

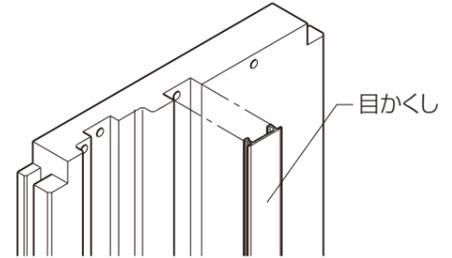
■G部詳細



■目かくしの取付け

※片引き3枚建のみ

●縦枠中央の溝に目かくしを戸当りと同様に接着剤(現場手配)で取付けてください。



■建付け調整

〔上下調整(調整幅+4mm、-2mm)〕

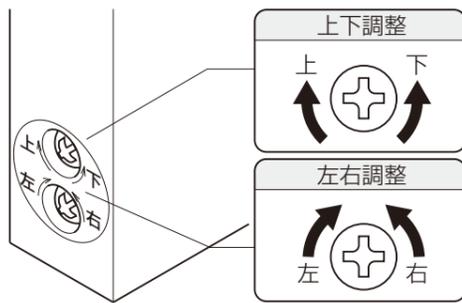
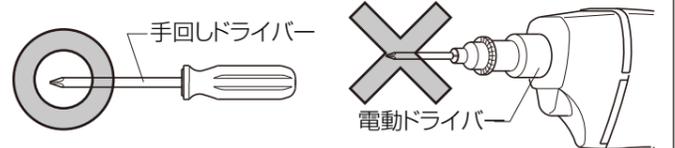
※鴨居に5mm以上かかるよう調整してください。

- ①本体両下端の上下調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。
- ②調整後、本体の鴨居へのかかりが5mm以上あるか、確認してください。

〔左右調整(調整幅±2mm)〕

本体両下端の左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。

※建付け調整は必ず、手回しドライバーを使用してください。
※電動ドライバーは、使用しないでください。ねじ頭が壊れるおそれがあります。

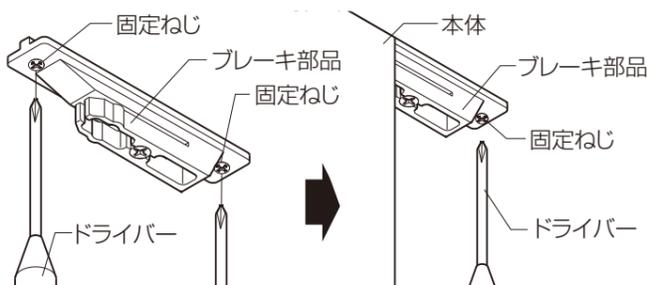


▲注意

●本体と鴨居へのかかりを5mm以上確保してください。かかりが少ない場合は、本ページの建付け調整を必ず行ってください。本体が枠から外れてケガをする原因になります。

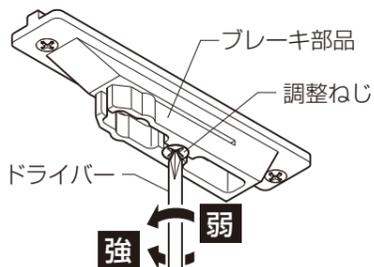
〔ブレーキの左右調整〕

本体の左右調整時、ブレーキの左右調整も行ってください。上レール内側に付いているブレーキ部品の固定ねじをゆるめ、下図のように本体を途中まで閉じてください。このまま片側の固定ねじを締め、本体を開けて反対側の固定ねじも締めてください。



〔ブレーキ力調整〕

上レール内側に付いているブレーキ部品の調整ねじで、ブレーキ力を調整してください。

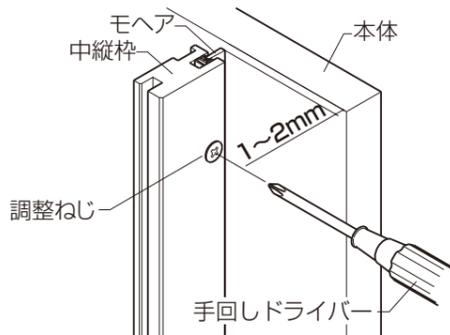


〔中縦枠の調整〕(出荷時5mm、最大11mm)

※本体とモヘアのすき間が1~2mm程度になるように調整してください。

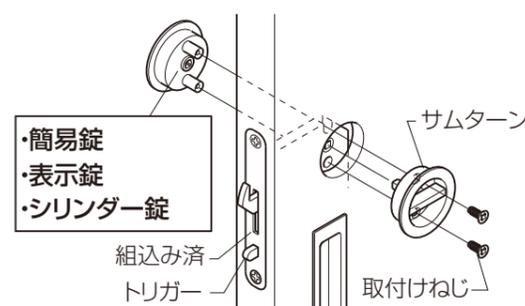
出荷時には輸送時のモヘアの折れ曲がりを防ぐためモヘアを最も引っ込めた状態で出荷しています。

- ①中縦枠のモヘア調整ねじを手回しドライバーで回してモヘアの出寸法を調整してください。
- ②調整後、本体とモヘアの先端が1~2mmのすき間が確保されているか確認してください。



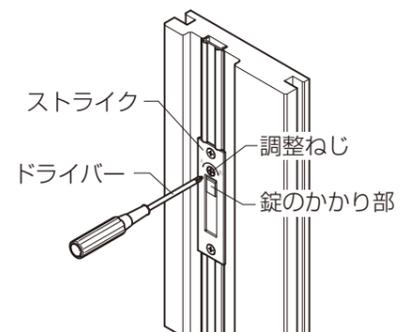
■引戸錠(サムターンの取付け)

別売りの錠を右図のように組立ててください。
※取付けねじを締める時に、いったんトリガーを押えて閉状態にしてから取付けてください。



〔引戸錠のかかり調整〕

●ストライクの調整ねじを右に回すと錠のかかり部が出て、左に回すと錠のかかり部が奥に入ります。

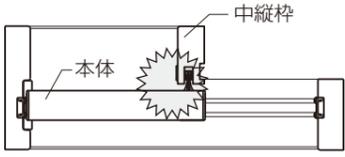
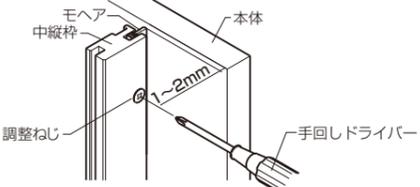
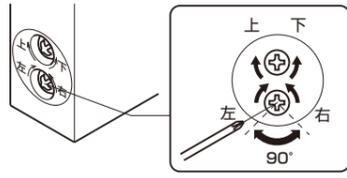
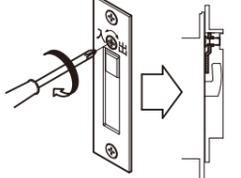
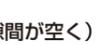
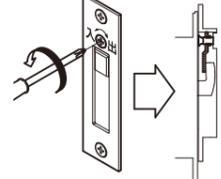
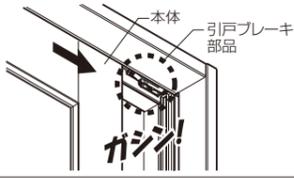
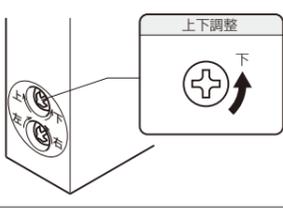
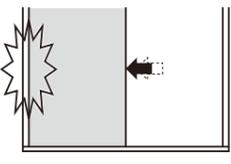
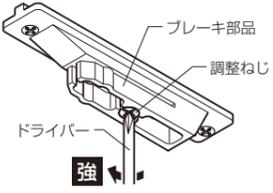
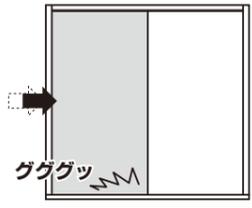
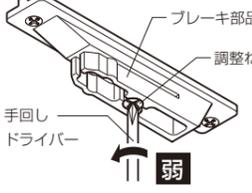
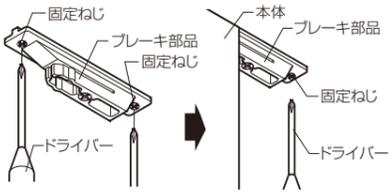
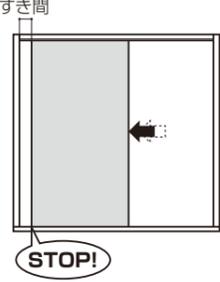
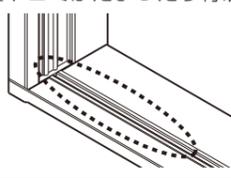
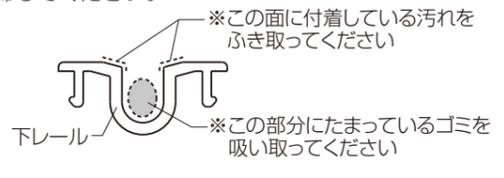
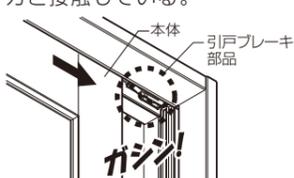
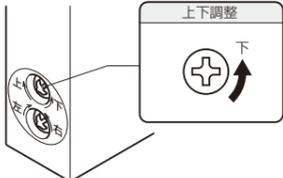
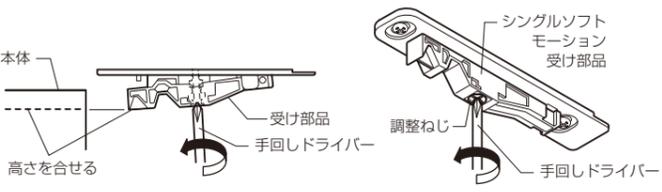
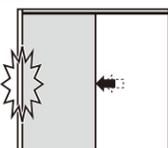
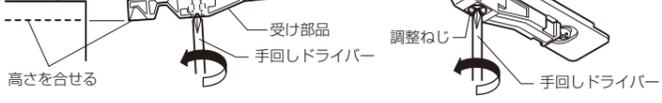


〔シングルソフトモーション受け部品の高さ調整をする〕 (シングルソフトモーションタイプの場合)

上レール内側に付いているソフトモーション受け部品の調整ねじで、高さ調整を実施してください。



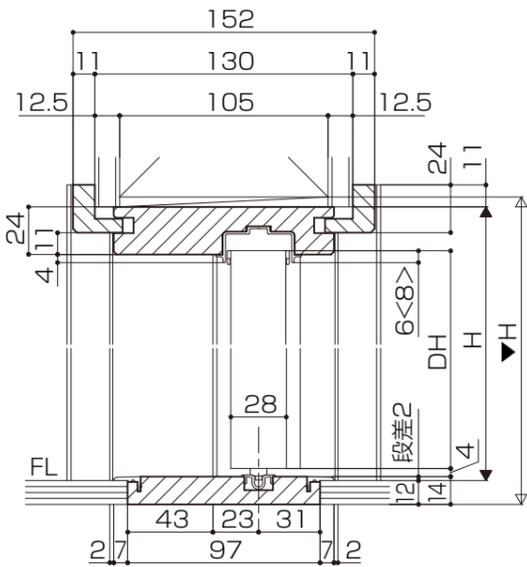
■異常時の対処方法

区分	現象	チェックポイント	対処方法
共通	開閉が重い (ソフトモーションの場合、 閉まりきらない) 	●本体とモヘアが接触している。 	モヘア調整ねじを調整 してください。 
	本体同士が当たる 	●戸車調整が不適當	戸車の左右調整をして ください。 ※調整ねじの可動範囲は 90°です。これを超えて 無理に回さないでください。 
	鍵がかからない 	●ストライク調整が不適當	ストライク調整ねじを右に 回してください。 
	鍵が甘い (縦枠と本体戸先に隙間が空く) 	●ストライク調整が不適當	ストライク調整ねじを左に 回してください。 
ブレーキ	閉まりきらない すき間 	●本体がブレーキと接触している。 	戸車を下げてください。 
	ブレーキが弱い 	●ブレーキ力調整が不適當	ブレーキ調整ねじを右に回し てください。 
	ブレーキが強い (開けはじめが重い) 	●ブレーキ力調整が不適當	ブレーキ調整ねじを左に回し てください。 
		●ブレーキ左右調整が不適當	固定ねじをゆるめ、本体 を閉めて位置合わせを してから固定ねじを固定 してください。 
シングルソフト モーション	閉まりきらない すき間 	●下レールに粉塵やゴミがたまったり付着している。 	下レールを清掃してください。 
		●本体がストライカと接触している。 	戸車を下げてください。 
		●枠の取付け精度が許容範囲をオーバーしている。 ※「■取付け精度の許容範囲」の欄参照	許容範囲内となるように再施工してください。
	本体があおる 	●シングルソフトモーション受け部品の調整が不適當	調整ねじを左に回してください。 
ソフトモーショ ンが作動しない 		高さ合わせる 	

■納まり図

■室内引戸 Vレール方式 片引戸 ケーシング付

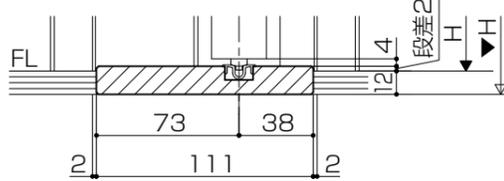
●縦断面図



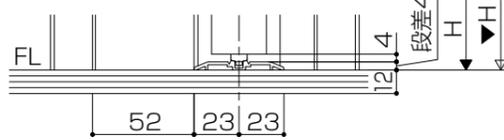
ツバ付薄敷居使用(3方枠)

※<>内はフラットレール納まりの寸法を示します。

・ツバなし薄敷居使用(4方枠)

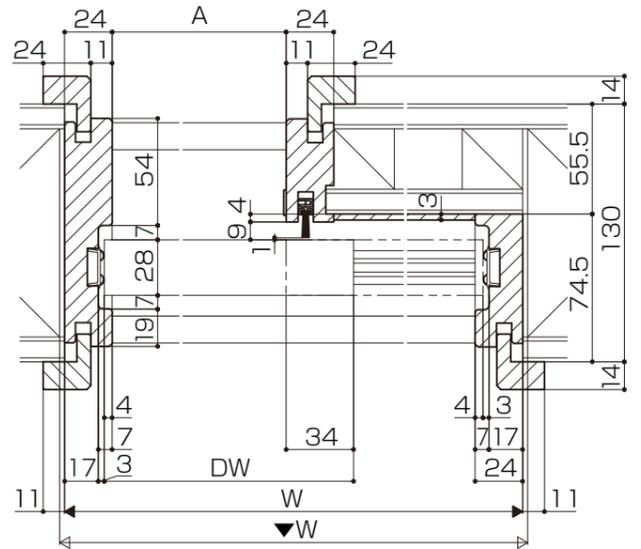


・フラットレール使用(3方枠)



W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W12(1188)	553	H20(2023)
W13(1324)	621	
W14(1454)	686	
W16(1644)	781	
W18(1824)	871	

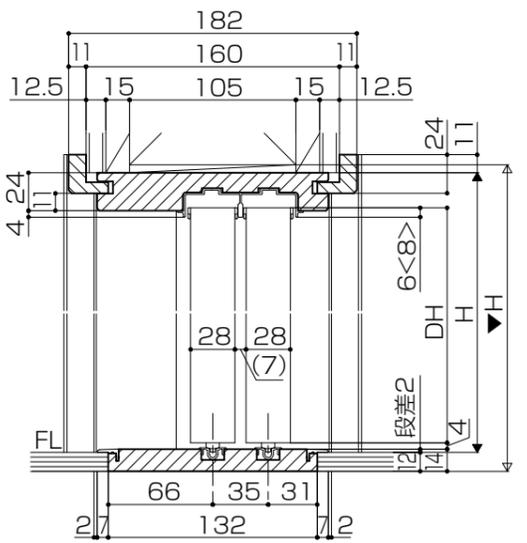
●横断面図



■ 枠見込み: 90・115mmの設定はありません。
 ※ 枠の見込み寸法が変わっても、レールの位置は中縦枠木口より共通の位置(23mm)となります。

■室内引戸 Vレール方式 片引戸2枚建 ケーシング付

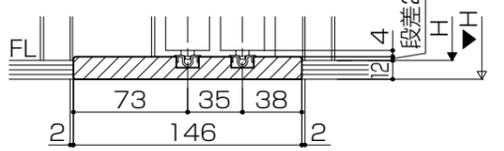
●縦断面図



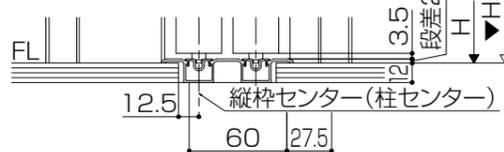
ツバ付薄敷居使用(3方枠)

※<>内はフラットレール納まりの寸法を示します。

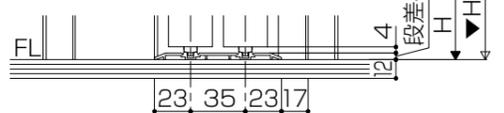
・ツバなし薄敷居使用(4方枠)



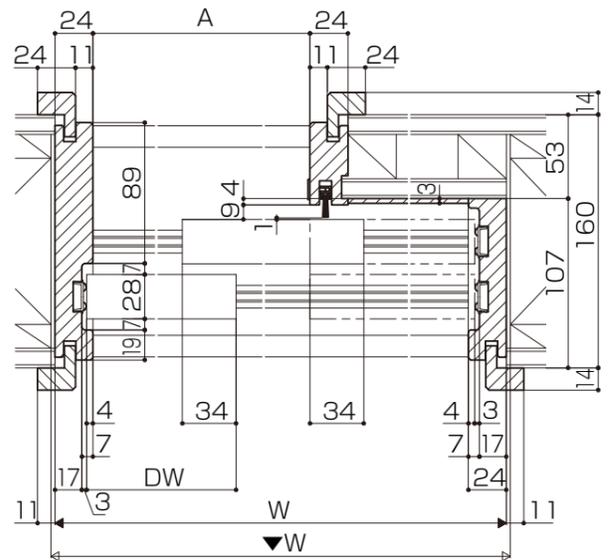
・埋込敷居使用(3方枠)



・フラットレール使用(3方枠)



●横断面図

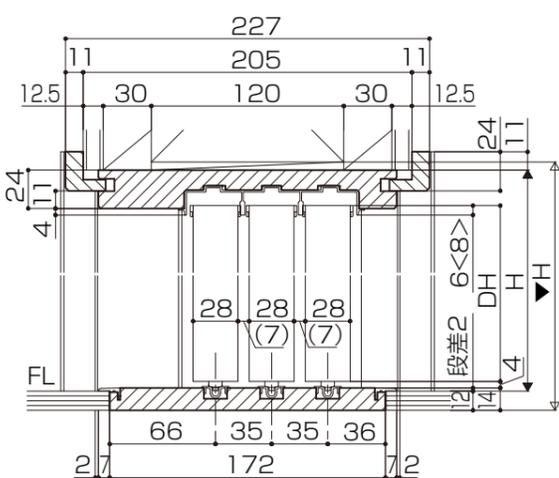


W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W24(2429)	1566	H20(2023)

※ 枠の見込み寸法が変わっても、レールの位置は中縦枠木口より共通の位置(23mm)となります。

■室内引戸 Vレール方式 片引戸3枚建 ケーシング付

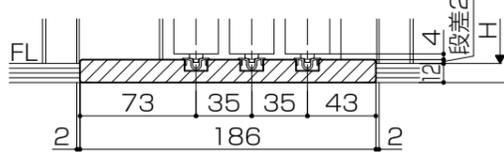
●縦断面図



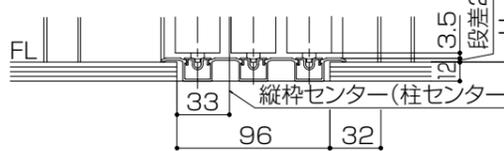
ツバ付薄敷居使用(3方枠)

※<>内はフラットレール納まりの寸法を示します。

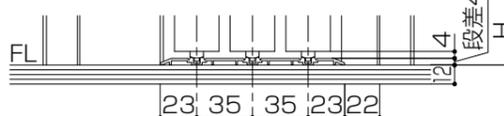
・ツバなし薄敷居使用(4方枠)



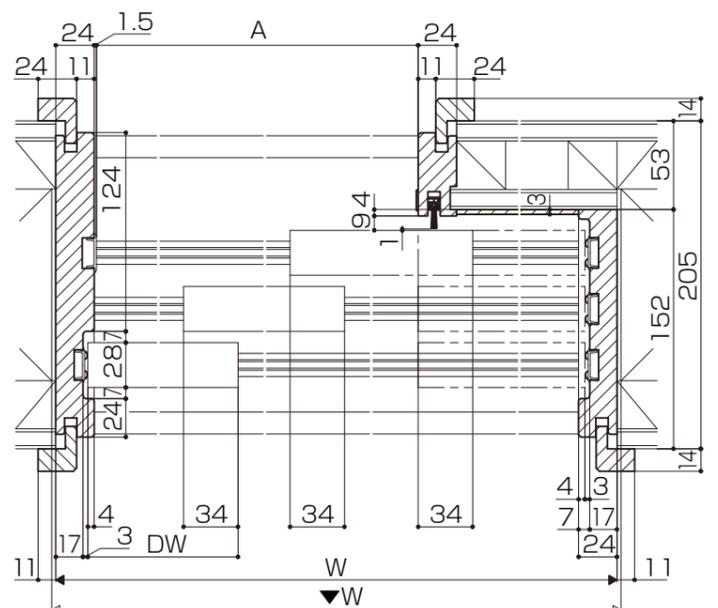
・埋込敷居使用(3方枠)



・フラットレール使用(3方枠)



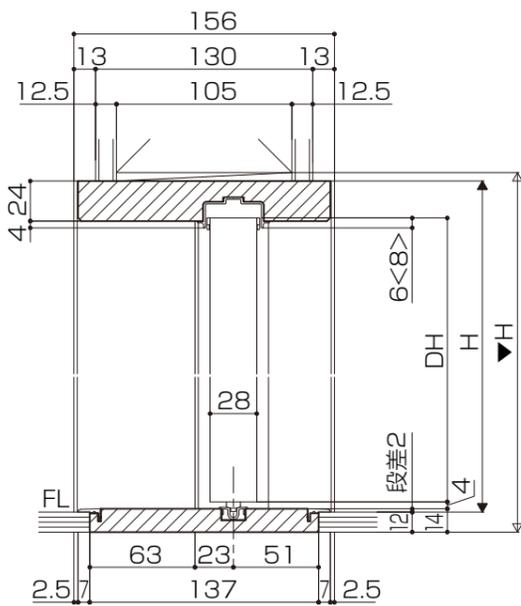
●横断面図



W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W32(3214)	2349.5	H20(2023)

■室内引戸 Vレール方式 引分け戸 ノンケーシング

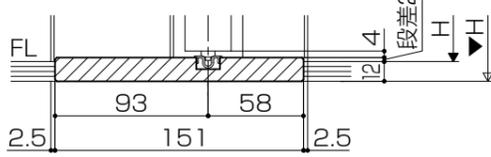
●縦断面図



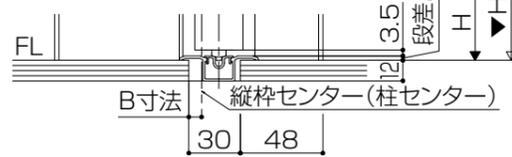
ツバ付薄敷居使用(3方枠)

※<>内はフラットレール納まりの寸法を示します。

・ツバなし薄敷居使用(4方枠)

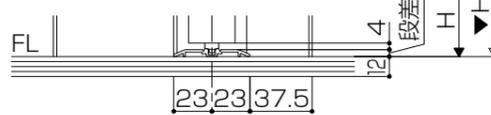


・埋込敷居使用(3方枠)

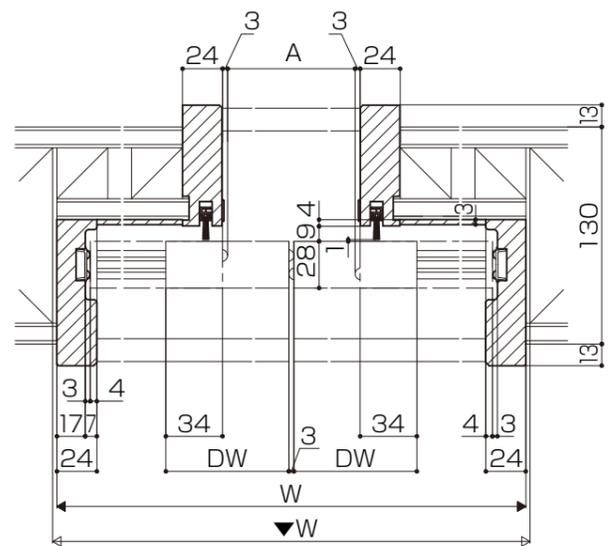


	NC156	NC171	NC180
B寸法	0	7.5	12

・フラットレール使用(3方枠)



●横断面図

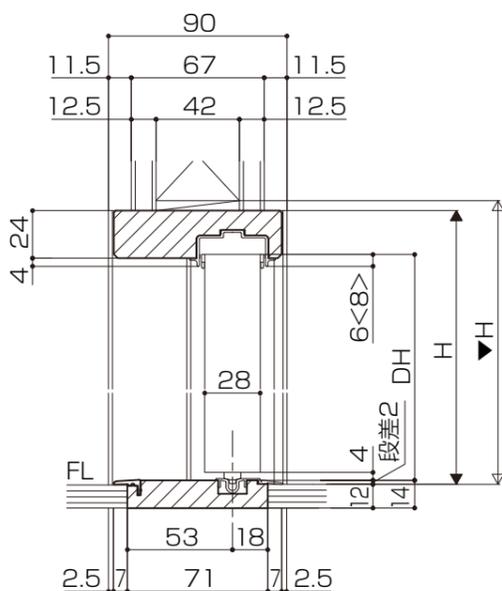


W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W32(3251)	1567	H20(2023)

※枠の見込み寸法が変わっても、レールの位置は中縦枠木口より共通の位置(23mm)となります。

■室内引戸 Vレール方式 片引戸 ノンケーシング90

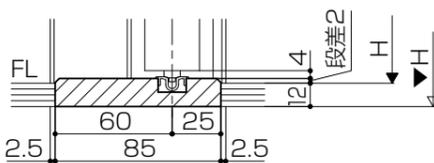
●縦断面図



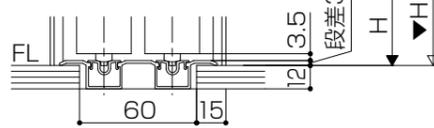
ツバ付薄敷居使用(3方枠)

※<>内はフラットレール納まりの寸法を示します。

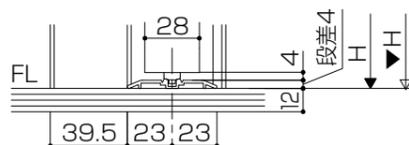
・ツバなし薄敷居使用(4方枠)



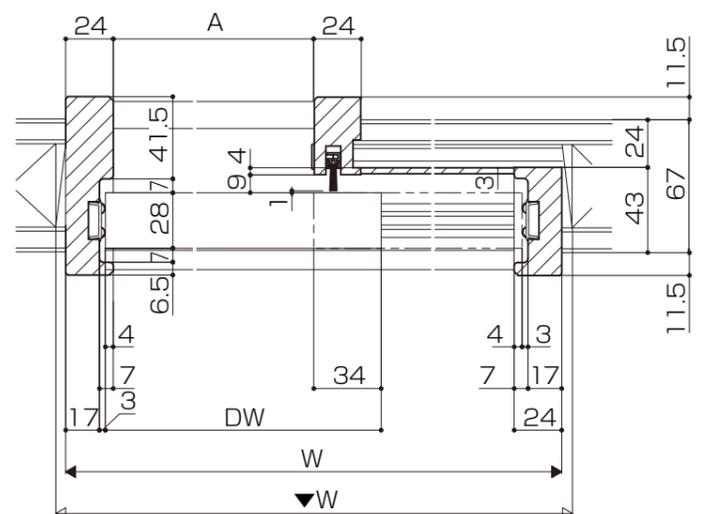
・埋込敷居使用(3方枠)



・フラットレール使用(3方枠)



●横断面図

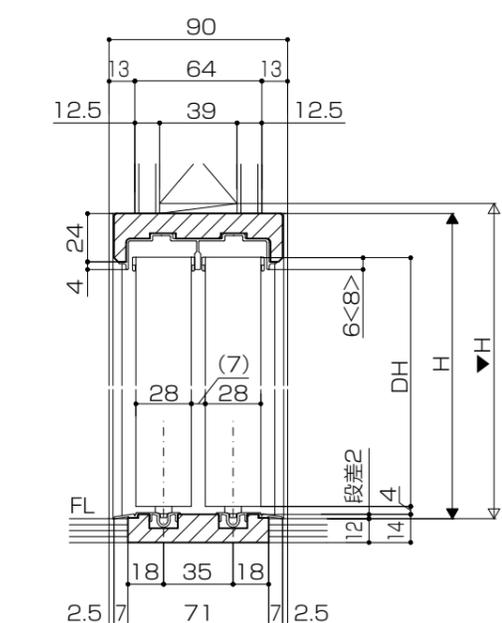


W呼称(枠外寸法)	A寸法	H呼称(枠外寸法)
W12(1188)	553	H20(2023)
W14(1454)	686	
W16(1644)	781	

※枠の見込み寸法が変わっても、敷居の位置は縦枠のセンターより共通の位置となります。

■室内引戸 Vレール方式 引違い戸2枚建 ノンケーシング90

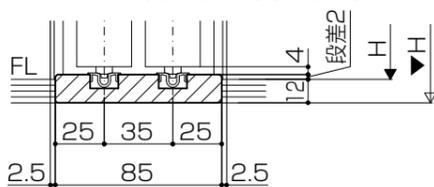
●縦断面図



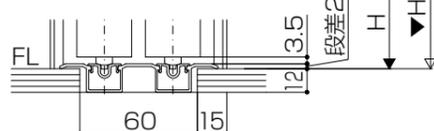
ツバ付薄敷居使用(3方枠)

※<>内はフラットレール納まりの寸法を示します。

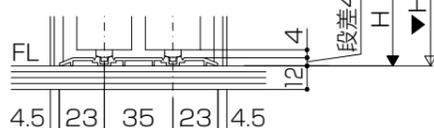
・ツバなし薄敷居使用(4方枠)



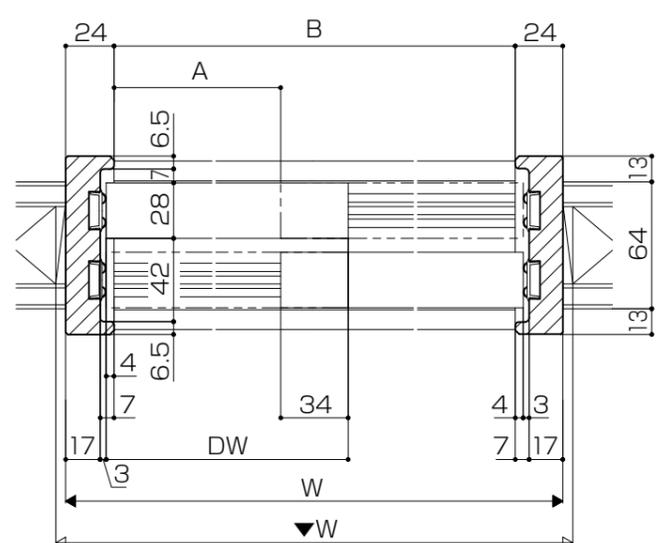
・埋込敷居使用(3方枠)



・フラットレール使用(3方枠)



●横断面図



W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法	H呼称(枠外寸法)
W16(1644)	781	1596	H20(2023)

※枠の見込み寸法が変わっても、敷居の位置は縦枠のセンターより共通の位置となります。